

『部落問題研究』105輯(1990年5月)

- 鈴木 良「近代日本の部落問題研究の方向」
高岡裕之「日本ファシズムの都市下層—在日朝鮮人と釜ヶ崎」
保坂裕興「18世紀における虚無僧の身分形成」
宮田伊津美「岩国藩の雑賤民について」
横井敏郎「明治後期の都市と部落—京都市を事例として」
脇田 修「近世被差別民の諸相」
布川 弘「研究情報／今井清一「大都市市議会議員三級連記選挙の比較研究」」
藤田励夫「研究情報／川嶋将生「川崎村の成立をめぐって」、田良島哲「中世後期の宿と散所」」

『部落問題研究』106輯(1990年8月)

- 青木孝寿「長野県水平社と朝倉重吉」
池田敬正「書評／馬原鉄男『転換期の部落解放運動』」
今西 一「「解放令」と農民闘争—播但一揆の場合」
大熊哲雄「研究ノート／「弾左衛門支配」に関する研究ノート(1)の3(完)」
黒川みどり・藤野豊「資料紹介／有馬頼寧日記」(9)1921年6月～1926年1月」
手島一雄「「国民」軍の創出と「解放令」」
布川 弘「研究情報／富山一郎「労働の規律と「伝統的」なるもの」」
藤井寿一「書評／芝英一『近世身分制と被差別の民』」
藤田励夫「研究情報／西木浩一「近世「賤民」身分の女性をめぐって」」

『部落問題研究』107輯(1990年9月)

- 飯塚一幸「「成果と課題」近・現代篇」
布川 弘「研究情報／小泉洋「社会大衆党の国家社会主義的画一化と小市民」」
藤田励夫「研究情報／相山聖子「一揆警備についての—考察—上州絹一揆の場合」」
前 圭一「前近代賤民研究の成果と課題」

『部落問題研究』108輯(1990年11月)

- 宇佐美英機「幕末期町の金銀貸借」
黒川みどり・藤野豊「資料紹介／「有馬頼寧日記」(10・完) 1928年1月～3月」
小路田泰直「古都・美の空間の成立」
鈴木栄樹「資料紹介／新体制運動と全国水平社—「新居善太郎文書」より」
鈴木 良「近代京都研究の課題—特集にあたって」
高木桂子「鴨川の洪水と京都復興計画」
布川 弘「研究情報／北原糸子「幕末期の都市下層民—四谷鮫河橋谷町」」
藤田励夫「研究情報／下坂守「中世非人の存在形態」」
横井敏郎「明治・大正期における都市の拡大と部落行政の転換—京都市を事例として」

『部落問題研究』109輯(1991年1月)

- 池田孝雄「岡本彌と水平運動」
藤野 豊「有馬頼寧と水平運動」

藤田励夫「研究情報／片岡智「近世における差別構造と村落—いわゆる「雑種賤民」を素材として」」

布川 弘「研究情報／ひろたまさき「近代天皇制と差別」」

『部落問題研究』110輯(1991年3月)

- 沼 謙吉「部落解放運動の先覚」
天野卓郎「前田三遊と第一次大戦下の部落問題」
高 淑 和／中村福治訳「資料紹介／日帝下・衡平社の研究」
臼井寿光「資料紹介／統 播磨国越部庄皮多道差留関係文書」
藤田励夫「研究情報／大村拓生「中世前期における路と京」」
布川 弘「研究情報／東條由紀彦「明治二〇～三〇年代の「労働力」の性格に関する試論」」

<ミ>

『水と村の歴史』6号(1990年12月)

斎藤洋一「五郎兵衛用水の掘貫を掘ったのは誰か」

(後記) 本目録は、部落解放研究所の図書資料室が日常的に収集している文献を中心に、執筆者から送っていただいた抜き刷りや各地の研究者からの資料提供等で補足しながら、歴史・理論部門事務局で作成した。全体を分野別に、また雑誌論文を執筆者順に配列していないので、検索には不便なことと思う。さらに前回同様、『部落』『部落解放』『解放教育』等の論文を捨棄したほか、力量不足から重要な文献が抜けているのではないかとも思う。しかし逆にあまり目に触れることのない貴重な文献をいくつか掲載することもできたので、読者の一助となれば幸いである。

『部落解放研究』76号(1990年10月)

- 秋定嘉和「水平社・融和運動における「転向」について」
 藤野 豊「戦時下水平運動の研究をめぐる問題点」
 本田 豊「中世との連続・非連続の問題をめぐる」
 松下志朗「中世との連続・非連続の問題をめぐる」

『部落解放研究』77号(1990年12月)

- 小林文広「近代社会と部落問題をめぐる研究状況—『部落解放史』中巻の発刊に寄せて」

『部落解放研究』78号(1991年2月)

- 白井寿光「史料紹介／戦時統制下の和膠業(1)和膠の沿革と技術的概要」
 田井安曇「書評／人の叫びの至上なるもの—松木淳詩歌集『荊の座』を読む」

『部落解放史・ふくおか』58号(1990年6月)

- 阿藤龍生「『明治維新と賤民廃止令』を読んで」
 川向秀武「史実と教材化の「はざま」—石瀧論文を読んで感じたこと」
 川向秀武「戦後福岡県部落問題・解放運動関係資料(1)」
 古文書学習会「近世民衆史の泉(5)」
 谷口研二「民話にみる他者認識の分析—民俗社会の民話と被差別部落の民話の比較考察(2)」

松下志朗「南九州における部落差別の重層性」

渡辺俊雄「占領期の部落問題」

『部落解放史・ふくおか』59号(1990年9月)

- 特集：福岡の識字運動
 谷口研二「民話にみる他者認識の分析—民俗社会の民話と被差別部落の民話の比較考察(完)」

金山登郎「史料紹介／戦後福岡県農民運動関係史料(友納喜敏氏旧蔵史料)」

古文書学習会「近世民衆史の泉(6)」

『部落解放史・ふくおか』60号(1990年12月)

- のびしょうじ「柴藤革座の鳥瞰構造(上)」
 吉川隆太郎「内野のなめしと皮製品」
 金山登郎「史料紹介／戦後福岡県農民運動史料(友納喜敏氏旧蔵史料)(2)」
 古文書学習会「近世民衆史の泉(7)」

『部落解放史・ふくおか』61号(1991年3月)

- 乾 武俊「二つの「盆踊り」をめぐる—「泊」と「竹原」の伝承文化」
 西村豊行「部落差別と表現—演劇活動を中心として」
 川向秀武「戦後福岡県部落問題・解放運動関係資料(2)」
 古文書学習会「近世民衆史の泉(8)」

『部落解放ひろしま』11号(1990年3月)

- 門田秀夫「連続解放講座11—水平社の創立と部落解放運動(7)」
 佐藤一夫「神辺地域における被差別部落の成立について」

『部落解放ひろしま』12号(1990年9月)

- 三浦昇一「戦後広島県部落解放運動史—戦後の解放運動とともに 草稿3」

『部落問題—調査と研究』85号(1990年4月)

- 井口文男「『神権』天皇制から「象徴」天皇制へ(上)」
 前田秀明「下内田地区の歴史と現状(1)」
 岡あきら「荊冠旗 第七部「逆流」第八章」

『部落問題—調査と研究』86号(1990年6月)

- 上田誠吉「集会条例から政党法まで—治安維持法を中心に」
 井口文男「『神権』天皇制から「象徴」天皇制へ(下)」
 前田秀明「下内田地区の歴史と現状(2)」

岡あきら「荊冠旗 第七部「逆流」第九章」

『部落問題—調査と研究』87号(1990年8月)

- 岩間一雄「大嘗祭の思想史的意味(上)」
 前田秀明「下内田地区の歴史と現状(3)」
 大森久雄「資料紹介／岡山県・民主教育関係資料(4)」

岡あきら「荊冠旗 第七部「逆流」第十章」

『部落問題—調査と研究』88号(1990年10月)

- 岩間一雄「大嘗祭の思想史的意味(下)」
 前田秀明「下内田地区の歴史と現状(4)」
 岡あきら「荊冠旗 第八部「分裂」第一章」

『部落問題—調査と研究』89号(1990年12月)

- 曾田康載・菅木一成・野崎かほる「共同研究／丹生谷哲一著『検非違使』の批判的検討(上)」
 前田秀明「下内田地区の歴史と現状(5)」

佐田昌弘「書評／坂本忠次『大正デモクラシー期の経済社会運動—岡山県地域を中心に』」

大森久雄「資料紹介／岡山県・民主教育関係資料(5)」

岡あきら「荊冠旗 第八部「分裂」第二章」

『部落問題—調査と研究』90号(1991年2月)

- 曾田康載・菅木一成・野崎かほる「共同研究／丹生谷哲一著『検非違使』の批判的検討(下)」

前田秀明「下内田地区の歴史と現状(6)」

岡あきら「荊冠旗 第八部「分裂」第三章」

<チ>

『人権啓発千葉』3号(1990年6月)

足部智平「近世被差別部落の成立とその起源に関する一考察」

鎌田行平「近現代史と部落解放運動」

<ト>

『東京部落解放研究』68号(1990年3月)

特集：上州小頭三郎右衛門文書(3)

『東京部落解放研究』69号(1990年6月)

松本めぐみ「報告／むらの語り伝えから一福岡県筑紫地区の伝承と掘り起し」

早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録(7)」

『東京部落解放研究』70・71号(1991年1月)

松浦利貞「『上州小頭三郎右衛門文書』と近世・東日本の部落の歴史像」

<座談会>「『三郎右衛門文書』と部落史研究」

斎藤洋一「砥石の生産・販売と被差別部落」

門馬幸夫「誰でも祭り・被差別部落の夜明し念仏」

早瀬二郎「連載漫画／弾左衛門風雲録(8)」

『同和問題研究』3号(滋賀県同和問題研究所、1991年3月)

平井清隆「部落の学校」

谷口勝巳「近江国における鬻牛馬の処理と皮場」

藤田恒春「明治二一年「旧穢多村の情景調査」に就いて」

中尾俊博「浄土真宗の業思想」

谷口勝巳「史料紹介／西尾家文書」

<ナ>

『ながさき部落解放研究』21号(1990年10月)

山下信哉「研究ノート／部落史学習を進めるために」

姫野順一「卑賤観と身分(幕末開港時代)―外国資料にみる被差別部落経済社会思想史の観点から」

若木太一「史料紹介／被差別部落史資料雑纂(4)」

前川雅夫「書評／『赤き黄土―地平からの告発・来民開拓団』を読んで」

『ながさき部落解放研究』22号(1991年3月)

上杉 聰「研究ノート／日本における「キリスト教＝邪宗」観の変遷」

<ヒ>

『ひょうご部落解放』39号(1990年6月)

小島達雄「被差別部落の歴史的呼称の問題―「特種部落」「特殊部落」の呼称をめぐる」

西田英二「聞き書き／丹波の被差別部落(上)」

明山 修「書評／上杉聰『明治維新と賤民廃止令』」

太田恭治「書評／石田涇源・加藤明『竹細工』に生きる』

今井ひろ子「書評／『皮革産業沿革史(下)』」

『ひょうご部落解放』40号(1990年9月)

安達五男「兵庫県下部部落史関係史料の紹介(4)御触書・諸願書関係文書―播磨国神西郡N村鶴野家史料(5)」

高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)6」

中尾健次「書評／『尼崎部落解放史 史料編1』」

『ひょうご部落解放』41号(1990年12月)

高木伸夫「兵庫県水平運動の活動」

寺木伸明「地域の部落史に学ぶ」

安達五男「明治期における氏子加入と氏神社の創建について」

永瀬康博「中世末期の皮作と御具足方」

稲垣有一「書評／寺木伸明『被差別部落起源論序説』」

『ひょうご部落解放』42号(1991年3月)

北口 学「部落史の映像資料研究(上)」

安達五男「兵庫県下部部落史関係史料の紹介(5)本村支配に反対・村役人不正一件・売掛金、預け荷物出入一件関係文書―播磨国神西郡N村鶴野家史料(6)」

高木伸夫「兵庫県水平運動史関係年表(草稿)7」

『ひらく』5号(1990年5月)

藤里 晃「解放令」、「解放令」反対一揆をどう教えるか」

<フ>

『部落解放研究』73号(1990年4月)

カート・スタイナー「聞き取り／占領期の人権保障と部落問題」

『部落解放研究』74号(1990年6月)

秋定嘉和「研究ノート／戦前の部落史研究と柳田民俗学の周辺」

『部落解放研究』75号(1990年8月)

石瀧豊美「書評／上杉聰『明治維新と賤民廃止令』」

伊地知紀子「資料紹介／日本のマイノリティー」

乾 武俊「被差別部落伝承文化論序説(3)」

岡本次男「本の紹介／『向野食肉産業百年史』抄」

黒川みどり「水平運動・融和運動史研究の動向」

竹前栄治「占領とマイノリティー」研究の動向と課題」

中尾健次「近世大阪と部落史―研究の現状と課題(下)」

南川久子「中世人の世界観をめぐる最近の研究動向―穢れ意識と境界の問題を中心に」

好並隆司「解放令・反対一揆研究の現状と課題」

歴史理論部門事務局「部落史関係文献目録(1988年1月～1990年3月)」

藤本清二郎「ふんすい／和歌の浦、歴史的景観、そして「部落」」
鈴木正幸「書評／峯岸賢太郎『近代に残った習俗的差別』」

『研究報告』第3集（奈良県大学同和教育協議会、1990年12月）

井上秀雄「古代における国際的な差別について」

牧 英正「江戸幕府による差別の制度化」

<コ>

『こべる』148号（1990年4月）

横井 清「誕生から葬送へ(上)」

中村水名子「近代に生きる人々・ほうき作り」

『こべる』149号（1990年5月）

横井 清「誕生から葬送へ(下)」

師岡佑行「清水紫琴「移民学園」について」

土方 鉄「近代に生きる人々・漫才」

『こべる』150号（1990年6月）

山本尚友「宿・鉢叩村を部落史にどう位置づけるか(上)」

『こべる』151号（1990年7月）

山本尚友「宿・鉢叩村を部落史にどう位置づけるか(下)」

師岡佑行「『妣の闇』あれはなんだったのだろうか」

川嶋将生「『翁の座』芸能の担い手を照射する」

亀岡哲也「『近江の被差別部落史』滋賀県における部落史研究の動向」

『こべる』152号（1990年8月）

灘本昌久「近代に生きる人々・靴直し」

『こべる』153号（1990年9月）

灘本昌久「近代に生きる人々・モモス買い」

『こべる』154号（1990年10月）

師岡佑行「外骨と部落(上)」

『こべる』155号（1990年11月）

師岡佑行「外骨と部落(下)」

『こべる』156号（1990年12月）

網野善彦「日本中世における聖別と賤視の諸相(上)」

中村水名子「近代に生きる人々・法界屋」

『こべる』157号（1991年1月）

網野善彦「日本中世における聖別と賤視の諸相(下)」

『こべる』158号（1991年2月）

藤田敬一「照射しあう「私」と現代と中世文化—横井清著『光あるうちに』を読む」

山本尚友「部落につくられた牢屋」

小林文広「近代に生きる人々・くつ」

『こべる』159号（1991年3月）

灘本昌久「近代に生きる人々・人力車夫」

<サ>

『佐賀部落解放研究所紀要—部落史研究』7号（1990年3月）

太田心海「筋陀羅考—「カースト社会の研究」序説」

丹野眞智俊「暗闇と曙光—薄墨色の中で」

中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から」

『佐賀部落解放研究所紀要—部落史研究』8号（1991年3月）

太田心海「改宗離檀と差別法名」

石瀧豊美「解放令と筑前竹槍一揆」

古賀新二「対馬藩田代領における奴刑について」

中村久子「資料／多久家『御屋形日記』から」

『差別とたたかう文化』21号（1990年11月）

藤野 豊「天皇制の思想と部落問題」

辛 基 秀「1945年秋 天皇制と朝鮮人」

辻本正教「天皇（制）と部落差別—洞部落強制移転によせて」

芦田千恵美「乾武俊『伝承文化と同和教育』評」

『差別とたたかう文化』第2期創刊号（1991年3月）

割石忠典「書評／「竹細工に生きる」を読んで」

<シ>

『信州農村開発史研究所所報』31号（1990年1月）

中村拓三「研究所設立一〇周年」

斎藤洋一「庄屋さんとお正月」

井出宗一郎「部落史の掘り起こしを」

町田善一郎「歴史の行間を読む」

村上昌克「未来に生かす責任」

『信州農村開発史研究所所報』32号（1990年4月）

斎藤洋一「高野町の被差別部落」

渡辺正喜「『証言・信州の被差別部落』の教材化」

碓氷文良「『石仏—石が語る民衆の歴史』を読んで」

『信州農村開発史研究所所報』33号（1990年7月）

高野昭之助「石が語る民衆の歴史」

——「浅科村に伝わる話」

『信州農村開発史研究所所報』34号（1990年10月）

斎藤洋一「甲州で捕らえられた越後「無宿」仁作」

『信州農村開発史研究所所報』35号（1991年1月）

斎藤洋一「平原村の「長吏」は「旦那寺」がなかった」

- 小笠原正仁「ある被差別部落の宮入り一件」
 小田康徳「書評／『和歌山県史—近現代』」
 ふじいとしかず「研究ノート／地域史研究における賤民論の構築—芝英—著『近世身分制と被差別の民—田辺領の場合』によせて」

(3) 部落問題関係逐次刊行物

<オ>

- 『おおいた部落解放史』9号(1990年7月)
 原口顕雄「継続は力なり—第8回九州地区部落解放史研究交流会を終えて」
 松下志朗「まとめと課題 前近代史」
 川向秀武「まとめと課題 近現代史」
 編集委員会「大分における部落史研究の歩み」
 岡光隆史「研究ノート／中津浄福寺について」
 編集委員会「史料／笹野音吉『社会の抑圧』」
 『おおいた部落解放史』10号(1991年3月)
 芦刈政治「被差別民衆と神社信仰」
 豊田寛三「府内浜ノ市と被差別民衆」
 段上達雄「宇佐神宮の放生会と被差別民衆」
 小玉洋美「祭りを支えた部落の技術—太鼓の張り替えを中心に」
 編集委員会「史料紹介／猪原知重「明治新民感憤録」」

<カ>

- 『解放研究』4号(1990年11月)
 佐藤泰治「越後の身分制度と渡守(上)」
 大熊哲雄「長吏と市の関わりについて」
 『解放新聞』1459、1460号(1990年2月)
 藤野 豊「松本治一郎の闘い」
 『解放新聞』～1462号(～1990年3月)
 うえすぎさとし「襲われた部落(終)」
 『解放新聞』1474、1478、1483号(1990年6～8月)
 上杉 聡「天皇制と部落差別」(1)～(3)
 『解放新聞』1496号(1990年11月)
 寺木伸明「近世政治起源説否定論への疑問—上杉聡さんの「天皇制と部落差別」の検討」
 『解放新聞』1508、1512号(1991年1～2月)
 北口 学「融和映画にみる部落史」

- 『関西大学人権問題研究室紀要』21号(1990年10月)
 趙 博「GHQ/SCAP Records について(1)」
 梁 永厚「近世朝鮮の身分制度と差別法(中)」
 『関西大学人権問題研究室紀要』22号(1991年3月)
 李 英 和「在日朝鮮人差別と法的処遇問題—退去強制と政治活動禁止を中心にして」
 <キ>
 『季刊リパティール』2号(1990年7月)
 小松和彦「鬼の太鼓—竜神・翁・鬼のイメージを探る」
 藤里 晃「人権学習ビデオ「日本の歴史と部落問題」第1巻を見て」
 『季刊リパティール』3号(1990年12月)
 宮崎芳彦「西光万吉再発見—調査、再評価、とりくみを待つ生涯の部分について」
 脇田 修「部落の起源をめぐって」
 『京都部落史研究所紀要』10号(1990年12月)
 金光哲「「異民族起源説」における「神功皇后的朝鮮観」の検討」
 下坂 守「晴明塚考—五条河原・清水坂に生きた人々の信仰」
 白石正明「史料紹介『大正十五年中ニ於ケル水平運動ノ状況』」
 <ケ>
 『けいはつ』(1989年4月)
 辻村正教「「けがれ」意識を考える」
 『月刊部落問題』161号(1990年4月)
 脇田 修「河原巻物考5／皮革業の由緒」
 曾地公夫「皮革あれこれ84／先駆者・今井謙吉の語りから(2)」
 『月刊部落問題』162号(1990年5月)
 脇田 修「河原巻物考6／歴史よりの主張」
 『月刊部落問題』163号(1990年6月)
 細川涼一「中世史の旅／仏日房寂入と増福寺寂心—叡尊の清水坂における非人施行の周辺」
 『月刊部落問題』165号(1990年8月)
 松尾 寿「私の歴史手帖から1／流人源次郎のこと」
 『月刊部落問題』166号(1990年9月)
 松尾 寿「私の歴史手帖から2／流人新蔵のこと」
 『月刊部落問題』167号(1990年10月)
 松尾 寿「私の歴史手帖から3／流人松之助のこと」
 『月刊部落問題』168号(1990年11月)
 松尾 寿「私の歴史手帖から4／近世における補完的農業労働力としての穢多身分」
 『月刊部落問題』169号(1990年12月)

- 『鳥取民俗学会報』10号(1989年12月)
遠藤二郎「差別等をたずねて」
<ナ>
- 『名古屋学院大学論集』社会科学篇、26巻3号(1990年1月)
小林 茂「日本における人権問題と身分制」
<ニ>
- 『日本史研究』335号(1990年7月)
手島一郎「部会ニュース／土族解体と『解放令』」
- 『日本史研究』336号(1990年8月)
荒 敬「占領下の治安対策と「非常事態」—神戸朝鮮人教育擁護闘争を事例に」
村田修三「新刊紹介／部落問題研究所『部落史史料選集』第1巻・古代中世編」
- 『日本史研究』337号(1990年9月)
横井 清「書評／林屋辰三郎『日本史講義』第1～3巻」
- 『日本史研究』338号(1990年10月)
小林文広「書評／安保則夫『ミナト神戸 コレラ・ペスト・スラム—社会的差別形成史の研究』」
高橋 啓「研究ノート／「あるき」考」
- 『日本史研究』340号～341号(1990年12月～91年1月)
脇田晴子「戦国期における天皇権威の浮上」(上)(下)
- 『日本史研究』341号(1991年1月)
脇田 修「新刊紹介／京都部落史研究所編『京都の部落史10 年表・索引』」
- 『日本史研究』343号(1991年3月)
阿部泰郎「書評／細川涼一『女の中世—小野小町・巴・その他』」
西山良平「部会報告／〈王期都市〉の動物誌」
- 『日本歴史』503号(1990年4月)
澤 博勝「西大寺流の組織化と勢力拡大—叡尊の諸活動の再検討を中心に」
- 『日本歴史』508号(1990年9月)
栢山聖子「書評と紹介／峯岸賢太郎『近世身分論』」
<ヒ>
- 『弘前大学国史研究』87号(1989年10月)
荒木陽一郎「蝦夷の呼称・表記をめぐる諸問題—(第1回)研究史と課題」
<ホ>
- 『法學研究』62巻3号(1989年3月)
笠原英彦「平安朝検非違使小考」
<マ>
- 『待兼山論叢』〈史学篇〉23号(1989年12月)
脇田 修「河原巻物の世界—八幡重来授与記」
<ミ>

- 『御影史学論集』15号(1990年10月)
酒向伸行「説経節系山椒大夫伝説の成立—厨子王伝承と物語の舞台をめぐる」
- 『みずくらいど』11号(1990年9月)
川鍋幸三郎「福生屠殺場とハム工場」
- 『民衆史研究』39号(1990年5月)
栢山聖子「一揆警備についての一考察—上州絹一揆の場合」
藤野 豊「日本ファシズム成立期におけるハンセン病患者の解放闘争」
- 『民衆史研究』40号(1990年11月)
黒川みどり「三重県近代部落史年表(6)」
- 『民俗芸能研究』10(1989年11月)
山路興造「研究動向／最近の各地の民俗芸能研究書」
武井正弘「書評／『中世の民衆と芸能』『近世の民衆と芸能』」
<リ>
- 『龍谷史壇』93・94号(1989年3月)
左右田昌幸「近世「部落寺院制」をめぐる—播磨国亀山源正寺を中心に」
<レ>
- 『歴史学研究』№606(1990年5月)
近世史部会「近世社会における差別と権威」
- 『歴史学研究』№608(1990年7月)
藤野 豊「書評／部落問題研究所編『近代日本の社会史的分析』」
- 『歴史と神戸』157号(1989年12月)
安達五男「江戸時代におけるN村にたいする入会権否認の具体的状況—播磨国神崎郡の鶴野家入会関係文書を中心に」
- 『歴史評論』482号(1990年6月)
徳永高志「書評／部落問題研究所編『近代日本の社会史的分析』」
- 『歴史評論』483号(1990年7月)
細川涼一「唐招提寺釈迦如来像胎内文書と女性・虫・非人」
- 『歴史評論』485号(1990年9月)
原 昭午「書評／峯岸賢太郎『近世身分論』」
- 『歴史評論』486号(1990年10月)
高木博志「天皇をめぐる「賤」「穢」の変容—維新変革における陰陽師・芸能賤民・夙の諸相」
- 『歴史評論』488号(1990年12月)
宮崎克則「近世初期の「走り者」と村落状況—豊前細川領を事例として」
- 『歴史評論』491号(1991年3月)
星 玲子「北海道における娼妓解放令—函館地方を中心として」
<ワ>
- 『和歌山地方史研究』20号(1991年2月)

153 部落史関係文献目録

- 齋藤 勇「東海地方における被差別部落民の運動」
 <エ>
 『延喜式研究』2号(1989年7月)
 三橋 正「「延喜式」穢規定と穢意識」
 <オ>
 『大阪の歴史』31号(1990年12月)
 小林 茂「尿尿問題の民俗覚書」
 田中 豊「書評と紹介／岡本良一史論集編集委員会『大阪の世相』」
 『大宮市立博物館研究紀要』2号(1990年3月)
 吉田 勉「幕藩体制の成立と近世賤民制度—社会的賤視から制度的差別へ」
 『大宮の教育史調査報告書』4号(1989年3月)
 —「文書・絵馬・石造物に見る近世大宮の生活・文化・教育」
 『大宮の教育史調査報告書』5号(1990年3月)
 吉田 勉「村にやってきた近代教育(上)—村の原理と近代国家の相剋」
 <キ>
 『京都市歴史資料館紀要』7号(1990年3月)
 小林文広「京都における「公衆衛生」の行方—奠都千百年記念祭・国内勸業博覧会をめぐって」
 山路興造「野田村の成立と展開—京都市伏見区竹田の被差別部落」
 『キリスト教社会問題研究』39号(1991年3月)
 秋定嘉和「1934年前後の廃娼運動」
 <ク>
 『沓谷だより』3号(1990年11月)
 竹内康人「静岡のアナキズム(1920~30年代)—史料・文献紹介」
 『群馬文化』223号(1990年7月)
 北爪 壹「村田村検地帳に見る被差別部落の実像」
 『群馬文化』224号(1990年10月)
 池田秀一「上州館林長吏半左衛門の由緒書をめぐって」
 <ケ>
 『芸能史研究』110号(1990年7月)
 下坂 守「中世非人の存在形態—清水坂「長棟堂」考」
 <コ>
 『広報とよなか』485号(1990年9月)
 豊中市自治振興室「「グラフとよなか25号」古地図差別地名掲載問題について」
 『広報とよなか』489号(1991年1月)
 渡辺俊雄「人権の視点から—歴史的資料の見方・使い方」
 『古代日本海文化』13号(1988年9月)
 福本正夫「古代日本の賤民制(4)」
 『駒沢大学史学論集』47号(1989年3月)
 原田信一「近世に於ける人口制限の実体と民衆の児童観」
 <シ>
 『史苑』49巻1号(1989年4月)
 辻まゆみ「近世村落と「帳外」」
 『史学研究』189号(1990年7月)
 片岡 智「近世における差別構造と村落—いわゆる「雑種賤民」を素材として」
 『静岡県近代史研究会会報』132号(1989年9月)
 小林文広「浜名郡吉野村のこと」
 『思想』No.801(1991年3月)
 大塚和義「書評／上村英明『北の海の交易者たち』」
 『史潮』新26号(1989年11月)
 北原糸子「幕末期の都市下層民—四谷鮫河橋谷町」
 『信濃』42巻4号(1990年4月)
 大橋昌人「殺生禁断の展開とケガレ—近世の信濃を中心に」
 『信濃』42巻12号(1990年12月)
 西木浩一「幕末期野州の「穢多家作一件」—史料紹介と論点の提示」
 『信濃』43巻2号(1991年2月)
 齋藤洋一「中山道小田井宿旅籠屋「無宿」捕り物一件—近世被差別民の役割の一端」
 『所報おおさか』18号(1990年10月)
 赤塚康雄「続『破戒』のモデル大江義吉と大阪」
 『白百合児童文化』2号(1990年11月)
 宮崎芳彦「遠くからの叫び声—永遠の少年山田孝野次郎、少女水水平社のこと」
 『神道学』139号~141号(1988年11月~1989年5月)
 小堀邦夫「触穢制度史稿」(1)~(3)
 <チ>
 『地域史研究』20巻1号(1990年9月)
 草山 巖「村落警察吏非人番について(2)—大坂四ヶ所と撰・播磨国村方の緊張関係を軸として」
 『ちくま』239号(1991年2月)
 永池健二「柳田國男と被差別部落史研究」
 『千葉史学』14号(1989年5月)
 安部康弘「中世社会における「髪切り」をめぐって—可視的身分標識論によせて」
 『地方史研究』219号(1989年6月)
 西木浩一「近世関東における「長吏」の寺檀関係」
 『青鶴』3号(1990年7月)
 金 英 達「在日朝鮮人に関するアメリカ占領軍の資料について」
 <ト>

- 富山一郎『近代日本社会と「沖繩人」』（日本経済評論社、1990年12月）
 <ナ>
 中尾健次「近世部落史と外骨」（『宮武外骨著作集』第3巻〈月報6〉河出書房新社、1988年8月）
 生瀬克己「日本の歴史のなかの障害者」（『障害者問題入門』解放出版社、1991年3月）
 <ニ>
 丹生谷哲一「中世公武政権と河原者の位相」（色川大吉ほか編『天皇制』1990年11月）
 日本史研究会・京都民科歴史部会編『天皇制を問う』（人文書院、1990年9月）
 <ヌ>
 「ぬくもりⅢ」編集委員会編『ぬくもりⅢ』（福岡市同和教育研究会、1990年11月）
 <ハ>
 畑中敏之『近世村落社会の身分構造』（部落問題研究所、1990年6月）
 <ヒ>
 平井清隆『湖国部落夜話』（滋賀県同和教育問題研究所、1991年4月）
 ひろたまさき「近代天皇制と差別」（日本史研究会ほか編『天皇制を問う』1990年9月）
 <フ>
 福岡部落史研究会『松原革会文書』第1巻〈部落解放史料叢書5〉（1991年3月）
 福田雅子・柏瀬昌編『部落史をどう教えるか』（日本放送出版協会、1990年4月）
 福本正夫『激動の中で（覚え書ふうに）——被差別部落民の戦前・戦中・戦後』戦前篇
 （本音を語る会、1989年5月）
 福本正夫『激動の中で（覚え書ふうに）——被差別部落民の戦前・戦中・戦後』戦中篇
 （本音を語る会、1989年8月）
 福本正夫『激動の中で（覚え書ふうに）——被差別部落民の戦前・戦中・戦後』戦後篇
 〈第1部〉（編者、1991年2月）
 ふじたあさや『しのだづま考』（編集工房ノア、1990年3月）
 藤野 豊「解題／雑誌『更生』と部落経済更生運動」（『更生—解題—総目次・索引』不二出版、1988年4月）
 部落解放大阪府企業連合会編『村をささえた仕事—部落解放大阪府企業連合会創立20周年記念誌』（1988年8月）
 部落解放研究所編『新版宗教と部落問題』（解放出版社、1990年10月）
 部落解放研究所編『部落差別事件年表（戦前編）1871—1945年』（1990年10月）
 部落解放研究所編『資料 占領期の部落問題』（1991年3月）
 部落解放研究所編『「大阪の部落史」調査研究事業報告書』（1991年3月）
 部落解放泉南・紀北民衆史研究会編『未来を見通す理論と展望を』（1989年2月）
 部落解放同盟熊本県連鹿本支部ほか編『たたかひの祭り 若き力に託す来民開拓団の心』（1990年12月）
 部落問題に取り組むキリスト教連帯会議編『部落差別と天皇制—解放をめざして』（1990年11月）

- <ホ>
 本田 豊『白山神社と被差別部落』（明石書店、1989年1月）
 <マ>
 松井久吉『部落史の精神—たたかひの渦中から問う』（解放出版社、1990年7月）、
 松下志朗「福岡部落史研究の一端について」（『角川日本地名大辞典』〈月報38〉角川書店、1988年2月）
 松根 鷹『差別戒名とは』（解放出版社、1990年10月）
 <ミ>
 峯岸賢太郎『近代に残った習俗的差別』（兵庫部落問題研究所、1990年11月）
 宮崎 章「敗戦」（歴史学研究会編『日本同時代史(1)敗戦と占領』青木書店、1990年9月）
 <モ>
 森田益子・もろさわようこ『人間に光あれ』（径書房、1991年1月）
 師岡佑行「神武天皇陵の決定と部落」（色川大吉ほか編『天皇制』1990年11月）
 <ヤ>
 矢田同和教育推進協議会歴史伝承部会編『この腕一本 一生けんめい—聞き取り(1)矢田部落の仕事』（1990年11月）
 矢田同和教育推進協議会歴史伝承部会編『矢田がふるさと—聞き取り(2)矢田部落の年中行事』（1990年11月）
 矢野笹雄遺稿集編集委員会編『文学に生き革命に生きて—矢野 笹雄の遺稿と回想』（1990年10月）
 山口 圭『分裂の前夜 戦後部落解放運動覚書』（部落問題研究所、1990年11月）
 <ユ>
 尹 健 次『孤絶の歴史意識—日本国家と日本人』（岩波書店、1990年8月）
 <ヨ>
 横井 清『光あるうちに—中世文化と部落問題を追って』（呵咄社、1990年12月）
 横田耕一『憲法と天皇制』（岩波書店、1990年7月）
 吉野孝雄『宮武外骨と部落問題[上]』（『宮武外骨著作集』第7巻〈月報7〉河出書房新社、1990年6月）
 米村竜治『殉教と民衆—隠れ念仏考』（同朋舎出版、1989年10月）
 <ワ>
 和田 萃「ケガレ覚え書き」（京都教育大学編『人権問題の教育に関する研究Ⅲ』1991年3月）
 (2) 逐次刊行物
 <ア>
 『愛知大総合郷土研究所紀要』35号（1991年3月）

- <オ>
 大阪人権歴史資料館編『近世身分制と部落の成立』(1990年11月)
 大阪人権歴史資料館編『祝開館5周年リパティおおさか』(1990年12月)
 大阪同和問題企業連絡会『古文書は知っていた—五郎兵衛用水と民衆』(1991年2月)
 大阪府立佐野工業高等学校定時制職員会議編『「部落」幻想を撃つ—反差別の現在から
 始源への出立』(1989年2月)
 岡倉登志『「野蛮」の発見—西洋近代のみたアフリカ』(講談社、1990年12月)
 岡本良一『大坂の世相』<岡本良一史論集下巻>(清文堂、1989年9月)
 沖浦和光『被差別民の担った文化と技術—部落史を見直す』(鳥取県部落解放研究所、
 1988年3月)
 沖浦和光『天皇の国・賤民の国—両極のタブー』(弘文社、1990年9月)
 沖浦和光編『水平—人の世に熱あれ』<思想の海へ[解放と変革]18>(社会評論社、1991
 年2月)
 小野田市・小野田市教育委員会編『心の響—同和問題の解決に尽くした先覚者・姫井伊
 介ものがたり』(1991年3月)
 アルフレッド・オプラー『日本占領と法制改革』(日本評論社、1990年10月)
 <カ>
 学童疎開展実行委員会編『戦争を生きのびた子どもたち』(1990年9月)
 樫井部落の歴史教材検討委員会編『樫井部落の歴史』(泉佐野市立長南中学校、1990年
 10月)
 川向秀武『「部落改善」への疑問と外骨の姿勢』(『宮武外骨著作集』第6巻<月報5>
 河出書房新社、1988年2月)
 <キ>
 岸キヌエ『みやらけの子守り唄—岸キヌエの生きてきた道』(1991年3月)
 紀田順一郎『東京の下層社会—明治から終戦まで』(新潮社、1990年5月)
 衣笠安喜『近世日本の儒教と文化』(思文閣出版、1990年12月)
 木下道雄『側近日記』(文芸春秋、1990年6月)
 金 静 美『事実を明らかにし怒りをとき放つ—アジア民衆史のために』(1991年2月)
 京都教育大学編『人権問題の教育に関する研究Ⅲ』(1991年3月)
 京都市編『史料京都の歴史 第1巻概説』(平凡社、1991年3月)
 郷土史編集委員会編『熊本市春竹地区の生活と文化』(熊本市教育委員会、1990年3月)
 <ク>
 栗林輝夫『荊冠の神学—被差別部落解放とキリスト教』(新教出版社、1991年3月)
 黒川みどり『解説／「愛国新聞」』(『水平運動・部落史研究資料4—愛国新聞』不二出
 版、1990年10月)
 群馬部落研東毛地区近世史学習会編『「下野国太郎兵衛文書」にみる長吏・非人の社会
 と生活』(1990年3月)
 <コ>

- 小島瓊禮編『人・他界・馬一馬をめぐる民俗自然誌』(東京美術、1991年1月)
 古関彰一『新憲法の誕生』(中央公論社、1989年5月)
 「これが私のふるさとです」編集委員会編『これが私のふるさとです』(八幡地域総合
 センター、1991年3月)
 故和島岩吉先生追悼集実行委員会編『故和島岩吉先生をしのぶ』(1990年7月)
 <サ>
 西光萬吉画集刊行委員会編『西光萬吉の絵と心』(大阪人権歴史資料館、1990年9月)
 「西光萬吉集」編集委員会編『西光萬吉集』(解放出版社、1990年10月)
 坂本忠治『大正デモクラシー期の経済社会運動—岡山県地域を中心に』<岡山大学経済
 学叢書11>(岡山大学経済学部、1990年3月)
 <シ>
 塩見鮮一郎『北条百歳 花の小田原』第1巻(批評社、1990年4月)
 静岡県編『静岡県史』資料編19<近現代四>(1991年3月)
 柴田 一『備前の部落民衆の身分闘争』(『角川日本地名大辞典』<月報43>角川書店、
 1989年6月)
 浄土真宗本願寺派同朋運動変遷史編集委員会『同朋運動史資料 別冊』(本願寺出版局、
 1990年7月)
 申仁弘・鄭雲樸・鄭承博『むくげの花と別れて(1)脱出』(平林久枝ほか編『NHK聞き
 書き・庶民が生きた昭和[2]』日本放送出版協会、1990年4月)
 <ス>
 鈴木 良『教科書のなかの部落問題 改訂増補版』(部落問題研究所、1990年12月)
 住吉部落歴史研究会編『住吉のくらしと仕事』(部落解放同盟住吉支部、1988年11月)
 住吉部落歴史研究会編『私たちの町・住吉 反差別・福祉と人権の町づくり』(部落解
 放同盟住吉支部、1990年7月)
 <タ>
 田中 彰『松陰と女囚と明治維新』<NHKブックス619>(日本放送出版協会、1991年
 3月)
 田宮 武編『新聞記事からみた水平社運動』(関西大学出版部、1991年3月)
 弾左衛門研究会編『弾左衛門研究会報告集』(1990年7月)
 <ツ>
 辻本正教『洞村の強制移転—天皇制と部落差別』(解放出版社、1990年11月)
 <テ>
 寺方部落史研究会編『寺方部落史研究』第1集—寺方の成り立ちと村立屠場の設立
 (1991年2月)
 寺木伸明『被差別部落起源論序説—近世政治起源説の再生』(明石書店、1990年8月)
 寺木伸明・大同教編『部落史学習をどうすすめるか 増補三訂版』(1990年4月)
 <ト>
 同和教育振興会『同朋運動40年のあゆみ』(浄土真宗本願寺派基幹運動本部、1990年12月)

資料

部落史関係文献目録

(注) 以下の目録は本号特集の一環として、概ね1990年4月から1991年3月に発表された著書・論文を対象に、(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題関係逐次刊行物に分類して掲載した。(1)は編著者の、(2)(3)は雑誌名の50音順に配列した。なお、1988年以降に発表されたものを、若干補った。

(1) 単行本・冊子

<ア>

- 赤澤史朗「太平洋戦争下の社会」(藤原彰ほか編『15年戦争史(3)太平洋戦争』1989年1月)
 朝田教育財団編『朝田善之助全記録』第4巻～第10巻(1988年1月～99年1月)
 阿部謹也『西洋中世の男と女—聖性の呪縛の下で』(筑摩書房、1991年1月)
 網野善彦『日本論の視点』(小学館、1990年11月)
 網野善彦『日本の歴史をよみなおす』<ちくまプリマーブックス50>(筑摩書房、1991年1月)
 安達五男「但馬宗五郎の訴えと天保ききん」(『角川日本地名大辞典』<月報40> 角川書店、1988年9月)
 安達五男編『三木市部落史関係文書—非人番関係史料』(三木市教育委員会、1989年3月)

<イ>

- 飯島吉晴「門松と二人の年男—上杉本洛中洛外図の正月風景(1)」(『月刊百科』327号、平凡社、1990年1月)
 飯島吉晴「正月の祝福芸人と遊戯—上杉本洛中洛外図の正月風景(2)」(『月刊百科』331号、平凡社、1990年5月)
 泉佐野市立第三中学校・泉佐野市教育委員会編『泉佐野民衆の歴史—鶴原宿村のあゆみを通して』(1989年7月)
 色川大吉ほか編『天皇制—歴史・王権・大嘗祭』<別冊文芸>(河出書房新社、1990年11月)

<ウ>

- 上杉 聰『天皇制と部落差別—部落差別は今なぜあるのか』(三一書房、1990年11月)
 上田正昭『古代学とその周辺』(人文書院、1991年2月)
 上村英明『北の海の交易者たち—アイヌ民族の社会経済史』(同文館、1990年6月)